

平成 20 年 6 月 4 日

報道機関 各位

東北大学大学院環境科学研究科

海外寄附講座の設置と東北大学とバンドン工科大学との大学間協定の締結について

東北大学大学院環境科学研究科（谷口尚司 研究科長）は、石油資源開発株式会社（本社 東京、JAPEX）からの寄附を受け、バンドン工科大学（Institut Teknologi Bandung, Indonesia）（インドネシア バンドン市）内に、海外寄附講座（Energy Security JAPEX 寄附講座）を設置した。この海外寄附講座は、バンドン工科大学内に東北大学のサテライトキャンパスを置き、教員 2 名が常駐して、「エネルギーの安全保障」に関する教育と研究にあたる。東北大学の本校からは、常駐教員の他にも継続的に教員が派遣され、本校と同じカリキュラム体系での講義を行い、研究設備も充実を図り、本校と同レベルの教育と研究を実施する。

修士課程、博士課程の学生を対象とし、たとえば修士課程の場合には、2 年間の就学期間のうち少なくとも半年間（第 3 セメスター）、仙台の本校にて講義を受けることができ、先端的设备を用いて研究を行うことができる。博士課程の場合も研究の内容により一定期間本校での研究が可能である。

授業料等、また日本での生活費として、奨学金が JAPEX より援助される。

この海外教育プログラムは、本邦の大学として初めての試みである。

（東北大学はじめ、研究拠点を海外に設置する例はあるが、教育を海外で展開する例はない）

東北大学とバンドン工科大学は、海外寄附講座の設置など、活発な交流を支える枠組みとして大学間の学術協定の締結を行う。

大学間協定の調印式ならびに海外寄附講座の開所式は、6 月 4 日（水）にバンドン工科大学において、井上明久 東北大学総長、Djoko Santoso バンドン工科大学学長、JAPEX 中山一夫常務執行役員らが出席して行われる。

【お問い合わせ先】

東北大学大学院環境科学研究科

担 当：土屋 範芳 教授

電 話：022-795-4850

Energy Security JAPEX Endowed Division

教育と研究

世界的なエネルギー需要の増大と地球温暖化等の地球規模の環境問題を，工学および社会科学の観点から俯瞰して，日本を含むアジアのエネルギーと社会との関わり，環境調和型の新たな社会構築のありかたを教育，研究する．また地球環境と調和した社会の持続的発展のための化石エネルギーおよび再生可能エネルギーの生産技術に関する教育と研究を行う．工学および社会科学分野を融合させて，日本とアジアのエネルギーの安全保障に関する学際的な教育と研究を推進する．

教育・研究内容・課題

化石エネルギーおよび再生可能エネルギーに関する日本のエネルギー戦略とアジア諸国との調和と均衡

- ・ 日本と該当地域のエネルギー政策とエネルギー安全保障
- ・ アジア諸国の社会構造とエネルギー
- ・ 石油産油国と石油消費国の社会と経済メカニズム
- ・ 地球温暖化問題と化石エネルギーの開発
- ・ 石油の増回収，再生可能エネルギーの技術開発
- ・ エネルギーの安定供給の技術